

事業の実施計画と実施状況

事業計画	実施状況
<p><公益1>県民スポーツ・文化推進事業 1,159,965千円(1,102,908千円)</p> <p>1 競技力向上 415,623千円(403,679千円) (1) 競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。 240,023千円(223,326千円)</p> <p>① 幼児の運動能力向上事業 3,256千円(3,256円) 2 巡目国スポの少年選手世代となる園児の基礎運動能力の獲得を目指し、幼稚園・保育所・認定こども園に対して、幼児運動指導の専門家を派遣する。(20園)</p> <p>② 目指せトップアスリート!わかとりっこ育成事業 1,592千円(1,592千円) 小学生を対象に、スポーツに触れる機会を提供する事で、スポーツに興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、ジュニア育成へと繋げ、未来のトップアスリートを目指すきっかけとするため「わかとりっこ体験会」を実施する。 (10競技)</p> <p>③ ジュニア指導者講習会 3,511千円(3,511千円) ジュニア指導にあたる指導者を対象に講習会を開催することにより、指導者自身の資質向上と県内指導者間の指導方法の共有・周知を図る。(37競技)</p>	<p><公益1>県民スポーツ・文化推進事業 1,048,905,161円</p> <p>1 競技力向上 365,696,556円 (1) 競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。 230,547,197円</p> <p>① 幼児の運動能力向上事業 3,000,110円 県内20園に派遣(1園当たり10回)</p> <p>② 目指せトップアスリート!わかとりっこ育成事業 1,185,304円 《第1回》 ・期 日;令和5年10月1日 ・場 所;北栄町B&G海洋センター ・参加者;23名 ・競 技;水泳(水球) 《第2回》 ・期 日;令和6年3月10日 ・場 所;米子産業体育館 他 ・参加者;274名 ・競 技;9競技 (ローイング、トランポリン、ハンドボール、カヌー、ボクシング、銃剣道、セーリング、水泳(水球)、ボウリング)</p> <p>③ ジュニア指導者講習会 2,906,510円 3.5 競技実施 陸上、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、バスケットボール、馬術、レスリング、体操、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、柔道、弓道、フェンシング、ソフトボール、バドミントン、カヌー、ライフル射撃、アーチェリー、空手道、ラグビーフットボール、銃剣道、なぎなた、山岳・スポーツクライミング、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン</p>

④カテゴリー別合同練習会

9,029千円 (9,029千円)

小学校高学年と中学1年、中学3年と高校1年など、カテゴリーをまたいで合同練習会を実施する。進学により校種が変わる段階においても、一貫した指導体制を維持し組織的な強化を図る。(37競技)

⑤ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業

4,800千円 (4,800千円)

特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。(20競技24クラブ)

⑥運動部活動活性化事業

28,515千円 (28,475千円)

ア 中学生選抜選手育成・強化支援

7,471千円 (7,471千円)

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより中長期的な選手育成と強化を図る。

※中体連全専門部に対する事業実施

(20競技)

イ 高等学校運動部指定合宿等支援

6,875千円 (6,805千円)

各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。

※A指定、B指定に区分して配分

(21校31競技68部)

ウ 高等学校運動部指定特別指導者確保支援

6,610千円 (6,354千円)

④カテゴリー別合同練習会

8,387,665円

36競技実施

陸上、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、カヌー、ラグビーフットボール、アーチェリー、空手道、山岳・スポーツクライミング、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン

⑤ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業

4,962,075円

20競技24クラブ支援

水泳2、ローイング2、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操2、レスリング、ハンドボール、自転車、相撲、フェンシング、ライフル射撃、ラグビーフットボール、カヌー2、空手道、銃剣道、山岳・スポーツクライミング、ボウリング、スケート、トライアスロン

⑥運動部活動活性化事業

26,313,658円

ア 中学生選抜選手育成・強化支援

7,471,000円

19競技実施

陸上、水泳、サッカー、ホッケー、バレーボール、体操、新体操、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、スキー

イ 高等学校運動部指定合宿等支援

7,100,000円

21校29競技71部指定

A指定：39部 B指定：32部

※計画後に指定部増

ウ 高等学校運動部指定特別指導者確保支援

6,610,000円

指定校へ指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

※鳥取城北高校：相撲

鳥取敬愛高校：バドミントン

エ 高等学校運動部指定外部指導者支援
7,559千円 (7,845千円)

各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

⑦県外優秀アスリート受入支援事業
4,500千円 (2,100千円)

本県の県立高校へ入学する県外優秀アスリートの受入体制の支援を行う。

@25千円×12月×13人 (ホッケー競技)

@25千円×12月×2人 (バレーボール競技)

⑧特別ジュニア選手指定強化事業
39,142千円 (39,142千円)

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(26競技28種目)

⑨鳥取ジュニアアスリート選手育成強化事業
10,114千円 (9,885千円)

県直轄の鳥取ジュニアアスリート発掘事業で認定されたジュニアアスリートに対する強化育成事業を実施する(13競技)

⑩指導者の育成事業 3,664千円 (3,537千円)

全国トップレベルの指導者のもとへ派遣、または県外から優秀指導者を招へいし、県講習会等を行うことにより、指導者の指導力向上や導体制の充実を図る。

(26競技28種目)

2校2競技2名支援

鳥取城北高校 相撲部1名

鳥取敬愛高校 バドミントン部1名

エ 高等学校運動部指定外部指導者支援
5,132,658円

10校20名支援

⑦県外優秀アスリート受入支援事業
2,850,000円

《受入状況》

・八頭高校ホッケー部；8名

・岩美高校バレーボール部；2名

⑧特別ジュニア選手指定強化事業
40,420,405円

26競技支援

陸上、水泳、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、卓球、相撲、馬術、バドミントン、弓道、ライフル射撃、アーチェリー、山岳・スポーツクライミング、カヌー、空手道、銃剣道、ボウリング、スキー、スケート、トライアスロン

⑨鳥取ジュニアアスリート選手育成強化事業
9,303,043円

13競技支援

ローイング、ホッケー、ボクシング、レスリング、セーリング、自転車、フェンシング、カヌー、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、空手道、アーチェリー、トライアスロン

⑩指導者の育成事業 2,635,473円

26競技実施

陸上、水泳、サッカー、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、バスケットボール、セーリング、ソフトテニス、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、ソフトボール、バドミントン、弓道、カヌー、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、空手道、アーチェリー、スキー、トライアスロン

⑪大学部指定強化事業 550千円 (550千円)

協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。

※A～Dの4区分に分け、国体強化につながる部へ配分する。(2大学6部)

⑫社会人等選手指定強化事業

26,949千円 (26,949千円)

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(27競技29種目)

⑬成年団体競技強化チーム事業

1,519千円 (1,519千円)

県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。

※チアフル鳥取(バドミントン)米子クラブ(アイスホッケー)へのチーム支援

⑭優秀選手確保事業 1,500千円 (1,000千円)

成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。

@500千円×3名 令和4年;1名
令和5年;2名

⑮特別指定競技国体強化事業

13,033千円 (12,110千円)

令和3年度から5年間のビジョン、強化策等プレゼンテーションの結果を踏まえ、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体での成績向上を図る。(9競技10種目)

⑯医・科学サポート事業

5,595千円 (5,695千円)

医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県外スポーツ診療関連施設

⑪大学部指定強化事業 340,645円

2校3競技3部指定

(鳥取大学(ローイング、アイスホッケー)
米子工業高等専門学校(ヨット))

⑫社会人等選手指定強化事業

27,665,041円

26競技支援

(陸上、水泳、ローイング、ホッケー、体操、卓球、自転車、レスリング、セーリング、軟式野球、ウエイトリフティング、相撲、馬術、弓道、バドミントン、山岳・スポーツクライミング、カヌー、ライフル射撃、アーチェリー、空手道、銃剣道、スキー、クレール射撃、ボウリング、スケート、トライアスロン)

⑬成年団体競技強化チーム事業

1,519,000円

2競技2クラブ支援

(バドミントン(チアフル鳥取)
アイスホッケー(米子アイスホッケークラブ))

⑭優秀選手確保事業

2,000,000円

4名支援

(令和4年4月採用1名
令和4年9月採用1名
令和5年4月採用2名)

※雇用6か月経過後及び1年経過後に500千円補助

⑮特別指定競技国体強化事業

13,990,460円

9競技支援

(サッカー、ボクシング、バスケットボール、体操(新体操、トランポリン)、ソフトテニス、フェンシング、柔道、ソフトボール、ラグビーフットボール)

⑯医・科学サポート事業

3,082,455円

ア トレーナー養成講習会

4回実施 延べ78名参加

イ 栄養講習会

5回実施 延べ167名参加

への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。

⑰強化練習用消耗品等対策事業

19,650千円 (17,877千円)

国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。

(12競技13種目)

⑱安全管理対策事業 1,902千円 (1,902千円)

国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。(41競技)

⑲強化推進事業 1,080千円 (1,080千円)

競技団体と連携を図るため、連絡・調整・

ウ 指導者クリニック

《1回目》

- ・期 日；令和6年2月3日
- ・会 場；鳥取県民体育館
- ・講 師；倉田孝太郎氏
- ・参加者；49名

《2回目》

- ・期 日；令和6年2月23日
- ・会 場；米子市ふれあいの里
- ・講 師；中野紘志氏
- ・参加者；19名

エ 筋力トレーニング等の充実

30競技支援

陸上、水泳、サッカー、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、セーリング、バスケットボール、レスリング、ソフトテニス、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、柔道、フェンシング、ソフトボール、弓道、バドミントン、ライフル射撃、アーチェリー、ラグビーフットボール、カヌー、空手道、山岳・スポーツクライミング、スキー、スケート、トライアスロン

⑰強化練習用消耗品等対策事業

19,852,200円

12競技支援

水泳、ローイング、体操、セーリング、自転車、馬術、山岳・スポーツクライミング、カヌー、クレ射撃、スキー、スケート、アイスホッケー

⑱安全管理対策事業

1,760,742円

36競技支援

陸上、水泳、サッカー、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、バスケットボール、セーリング、ハンドボール、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、柔道、弓道、ソフトボール、バドミントン、ライフル射撃、剣道、カヌー、ラグビーフットボール、アーチェリー、空手道、山岳・スポーツクライミング、銃剣道、ゴルフ、クレ射撃、なぎなた、ボウリング、スケート、アイスホッケー

⑲強化推進事業

818,173円

競技団体との意見交換会等に係る経費、そ

指導・視察・会議等の費用

⑳国体等強化備品整備

34,908千円 (28,864千円)

国体(中国ブロック大会)や強化に必要な強化備品の整備を行う。(11競技)

㉑公認指導者資格取得・更新補助事業

153千円 (97千円)

国民体育大会の監督資格要件として必要な日本スポーツ協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の1/2補助を実施する。

㉒競技力向上担当人件費

25,061千円 (20,356千円)

競技力向上対策事業を執行するための4名の人件費

(2) わかとり国体開催記念スポーツ振興事業

500千円 (650千円)

ア 国民体育大会入賞奨励金支給事業

国民体育大会において入賞した競技(種別)に対し報奨金を支給する。

イ 強化推進費

鳥取県スポーツ協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費。

(3) 国民体育大会鳥取県選手団派遣等事業

148,689千円 (155,901千円)

①国体予選会の開催

ア 国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。(40競技)

2,605千円 (2,820千円)

イ 新型コロナウイルス感染対策○臨

2,040千円 (2,000千円)

②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣

55,179千円 (47,359千円)

山口県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及びフィギュアスケート全国予選会へ選手団を派遣する。

の他事務費

⑳国体等強化備品整備

35,418,892円

11 競技支援

陸上、水泳、ローイング、体操、自転車、相撲、ウエイトリフティング、弓道、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー

㉑公認指導者資格取得・更新補助事業

260,400円

6 競技支援

サッカー、ローイング、ボクシング、バレーボール、剣道、なぎなた

㉒競技力向上担当人件費

21,874,946円

職員人件費4名分

(2) わかとり国体開催記念スポーツ振興事業

345,110円

ア 16 競技 4 1 種目入賞

陸上、水泳、ローイング、ホッケー、自転車、ボクシング、バレーボール、レスリング、馬術、セーリング、ウエイトリフティング、相撲、カヌー、バドミントン、ライフル射撃、スポーツクライミング

イ 競技団体へ激励品を支給

(3) 国民体育大会鳥取県選手団派遣等事業

110,343,306円

①国体予選会の開催

3,388,276円

ア 国体県予選会の開催 40 競技 2,464,337円

イ 新型コロナウイルス感染対策○臨

923,939円

②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣

40,255,476円

ア 本大会

・期 日；令和5年5月6日～8月27日

・会 場；山口県内の各会場 等

- ・期 日；令和5年年5月～12月
- ・会 場；山口県内の各会場等
- ・競技種目；水泳（水球）他32競技

③特別国体及び第78回国スポ冬季大会への選手団派遣 78,638千円（74,064千円）

ア 鹿児島県で開催される特別国民体育大会に選手団を派遣する。

《本大会及び会期前》

- ・期 日；令和5年10月7日～17日

※会期前実施競技は令和5年9月16日～24日

- ・競技種目；陸上競技 他36競技

イ 第78回国スポ冬季大会に選手団を派遣する。

《スケート・アイスホッケー競技》

- ・期 日；令和6年1月27日～2月4日
- ・場 所；北海道苫小牧市

《スキー競技》

- ・期 日；令和6年2月21日～24日
- ・場 所；山形県山形市・上山市 他

④国体等派遣選手指導費

1,287千円（1,287千円）

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

⑤新型コロナウイルス感染症対策費○臨

8,940千円（28,371千円）

- ・中国ブロック大会及び全国予選会

4,593千円（16,880千円）

中国ブロック大会に出場するための往復PCR検査代

- ・第77回国体及び特別国体冬季大会

4,347千円（11,491千円）

- ・競技種目；水泳（水球）他30競技
778名派遣

イ 冬 季

- ・期 日；令和5年12月9日～10日

- ・会 場；ひろしんビッグウェーブ(広島県)

- ・競技種目；アイスホッケー 29名派遣

③特別国体及び第78回国スポ冬季大会への選手団派遣 65,613,371円

ア 特別国民体育大会

《会期前》

- ・期 日；令和5年9月16日～24日

- ・競技種目；6競技

水泳、ローイング、体操、バレーボール、レスリング、ゴルフ

- ・派遣人数；106名

《本国体》

- ・期 日；令和5年10月7日～17日

- ・競技種目；陸上競技 他24競技

- ・派遣人数；277名

イ 第78回国スポ冬季大会へ選手団を派遣

《スケート競技》

- ・期 日；令和6年1月27日～2月4日

- ・場 所；北海道苫小牧市

- ・派遣人数；17名

《スキー競技》

- ・期 日；令和6年2月21日～24日

- ・場 所；山形県山形市・上山市 他

- ・派遣人数；37名

④国体等派遣選手指導費

1,086,183円

情報収集活動等に伴う旅費交通費、燃料費、賃借料

⑤新型コロナウイルス感染症対策費○臨

0円

※感染症による出場制限がなくなったため、不執行

国体に出場するための往復PCR検査代

(4) 競技力向上のための指導者確保事業

12,725千円 (11,600千円)

鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。(ホッケー、セーリング)

(5) JOC競技別強化拠点(セーリング・クライミング)整備等事業

12,926千円 (11,512千円)

JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリナー及び倉吉体育文化会館における競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。(コーチングスタッフの確保)

(6) アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日本スポーツ協会委託事業) 200千円 (200千円)

指導者、選手を対象とした講習会を開催する。

(7) 賛助会費事業 560千円 (490千円)

①ジュニア期の一貫指導・育成支援事業

400千円 (400千円)

全国での入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。

②総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

100千円 (30千円)

総合型地域スポーツクラブが指導者を招聘して教室開催等を行うことにより、会員確保やクラブ活性化を図る。

③賛助会員体育施設利用券の発行

30千円 (30千円)

当協会が管理する指定管理及び所有する施

(4) 競技力向上のための指導者確保事業

12,171,481円

体育指導員2名配置(ホッケー、セーリング)

(5) JOC競技別強化拠点(セーリング・クライミング)整備等事業

11,875,494円

体育指導員2名配置

(6) アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日本スポーツ協会委託事業) 18,495円

《第1回ドーピング講習会》

- ・期 日；令和5年8月31日
- ・場 所；白兔会館
- ・参加者；60名

《第2回ドーピング講習会》

- ・期 日；令和5年9月29日
- ・場 所；鳥取産業体育館
- ・参加者；144名

(7) 賛助会費事業 395,473円

①ジュニア期の一貫指導・育成支援事業

379,558円

14校19部指定

②総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

0円

申請なし

③賛助会員体育施設利用券の発行

10,580円

・発行枚数：276枚

設の利用券を交付する。	・利用枚数：22枚 〔布勢総合運動公園6枚、鳥取産業体育館6枚〕 〔皆生市民プール4枚、倉吉体育文化会館4枚〕
④賛助会運営費 30千円 (30千円) 当協会が賛助会を運営していくために必要となる経費	④賛助会運営費 5,335円

事業計画	実施状況
2 生涯スポーツ推進 44,619千円 (43,546千円) (1) 広域スポーツセンター事業 29,304千円 (30,535千円) ①総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 320千円 (320千円) 総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。 (研修会1回、指導者派遣2回) ②クラブアドバイザー配置事業 5,435千円 (5,622千円) 総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援等を行うためクラブアドバイザー(1名)を配置する。 ③クラブアシスタントマネジャー研修事業 153千円 (120千円) 総合型地域スポーツクラブのマネジメントに必要な基礎知識を有する人材を養成するため、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格	2 生涯スポーツ推進 39,176,225円 (1) 広域スポーツセンター事業 27,044,058円 ①総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 145,691円 ア 研修会 ・期 日；令和5年9月3日 ・場 所；倉吉体育文化会館 ・講 師；松田雅彦氏 (大阪教育大学附属高校教諭) ・内 容；総合型地域スポーツクラブの課題を考える講演とワークショップ ・受講者；9名 イ 指導者派遣 ・期 日；令和5年9月22日 ・場 所；南部町役場天萬庁舎まんてんホール ・講 師；松田雅彦氏 (大阪教育大学附属高校教諭) ・内 容；クラブ役員ヒアリング、会員等との意見交換、クラブ指導 ・受講者；28名 ②クラブアドバイザー配置事業 5,513,023円 職員人件費1名分 ③クラブアシスタントマネジャー研修事業 151,271円 ・期 日；令和5年6月24日、25日 ・場 所；倉吉体育文化会館 ・講 師；渡辺泰弘氏 (広島経済大学経済学部准教授)

取得のため の研修会を行う。(年1回)

④県民まるごとスポーツ推進事業

3,400千円(3,494千円)

ア 親子deスポーツ推進事業(総合型)

1,116千円(977千円)

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、総合型地域スポーツクラブが親子向け運動教室を開催することを支援する。(9クラブ)

イ 親子deスポーツ推進事業(競技団体)

1,102千円(1,300千円)

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、競技団体が親子向け運動教室を開催することを支援する。(3競技)

ウ みんなdeユニスポ推進事業

1,182千円(1,217千円)

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供することを目的とし、総合型地域スポーツクラブが幅広い層を対象としたスポーツ機会を提供することに対して支援する。(5クラブ)

・内容;クラブマネージャーの役割

クラブの運営

総合型地域スポーツクラブとは

クラブの現状、クラブの作り方

・受講者;4名

④県民まるごとスポーツ推進事業

3,023,792円

ア 親子deスポーツ推進事業(総合型)

932,859円

5クラブ支援

地域スポーツ推進協会

(トランポリン&バク転教室)

ウルTRASポーツクラブ

(気軽な誰でもできるスポーツ)

ほうきスマイリースポーツクラブ

(モルック、ラフティング、運動遊び)

にちなんスポーツクラブ

(リズムトレーニング、ビーチバレー)

スポーツしょい大山

(親子でバドミントン教室)

イ 親子deスポーツ推進事業(競技団体)

889,514円

6競技支援

鳥取県ローイング協会

鳥取県セーリング連盟

鳥取県バドミントン協会

鳥取県山岳・スポーツクライミング協会

鳥取県空手道連盟

鳥取県ボウリング連盟

ウ みんなdeユニスポ推進事業

1,201,419円

6クラブ支援

かほくスポーツクラブ

(スポーツクライミング体験)

ウルTRASポーツクラブ

(気軽な誰でもできるスポーツ)

琴の浦クラブ(陸上、各種パラスポーツ)

にちなんスポーツクラブ

(リズムトレーニング、コーン倒し等)

サンリンク・スポーツ(モルック・ボッチャ)

青谷スポーツクラブ

(トランポ・ロビクス、モルック、ボッチャ)

⑤鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 824千円 (824千円)

県内スポーツ施設、スポーツイベント、鳥取へのアクセスマップ、宿泊施設及び各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。

⑥第24回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 7,879千円 (7,791千円)

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

ア 夏季大会 (4種目)

- ・期 日 ; 令和5年8月26日～27日
- ・会 場 ; 中部地区中心に全県で開催

イ 秋季大会 (33種目)

- ・期 日 ; 令和5年10月28日～29日
- ・会 場 ; 中部地区中心に全県で開催

ウ 冬季大会 (5種目)

- ・期 日 ; 令和6年2月11日
- ・会 場 ; 中部地区中心に全県で開催

⑦大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 3,500千円 (3,500千円)

当協会と江原道体育会との協定 (平成13年11月6日締結) に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。

令和2年度から令和4年度までの3年間は新型コロナウイルスの影響で実施が延期となったため、令和5年度は鳥取県が江原道を訪問

- ・期 日 ; 令和5年11月 (予定)
- ・参加者 ; 3競技の監督、選手、協会職員等

⑧広域スポーツセンター人件費 7,378千円 (8,214千円)

広域スポーツセンターの事業を受託執行するための1名分の人件費

⑤鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 824,230円

⑥第24回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 7,253,701円

ア 夏季大会 (3種目)

- ・期 日 ; 令和5年8月26日～27日を中心に実施
- ・会 場 ; 中部地区を中心に開催
- ・参加人数 ; 661名 (前年度547名)

イ 秋季大会 (30種目)

- ・期 日 ; 令和5年10月28日～29日を中心に実施
- ・会 場 ; 中部地区を中心に開催
- ・参加人数 ; 6,579名 (前年度6,594名)

※申込状況によりボウリング等3種目中止

ウ 冬季大会 (5種目)

- ・期 日 ; 令和6年2月11日
- ・会 場 ; 大山ホワイトリゾート 他
- ・参加人数 ; 477名 (前年度508名)

⑦大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 2,740,024円

- ・実施競技 ; バレーボール (高校女子)
バドミントン (成年男女)
- ・期 日 ; 令和5年12月6日～10日
- ・開催場所 ; 大韓民国江原道春川市
- ・参加者 ; 鳥取県選手団29名

⑧広域スポーツセンター人件費 7,031,311円

職員人件費1名分

⑨ スポトピアとっとりフェスタ開催事業

330千円 (650千円)

総合型地域スポーツクラブと連携し、国民の祝日である「スポーツの日」の関連行事として、スポーツの楽しさや喜びを伝える「スポトピアとっとりフェスタ」を開催する。

⑩ 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

85千円 (0千円)

総合型クラブが公益性の高い持続可能な「社会的な仕組み」として地域社会に定着することを目的として、県内の総合型地域スポーツクラブの相互交流と活動支援等を行う。

(2) スポ協表彰事業○自

1,300千円 (1,209千円)

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき、本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、表彰選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

・期 日；令和6年2月25日

・場 所；白兔会館

・表彰内訳

優良団体賞 2団体程度

体育功労章 若干名

優秀指導者賞 若干名

特別賞 国際大会出場者等

⑨ スポトピアとっとりフェスタ開催事業

306,050円

《東部地区》

・期 日；令和5年10月30日

・場 所；ホテルモナーク鳥取

・内 容；プロランナー川内優輝氏の講演

・人 数；43名

《中部地区》

・期 日；令和5年11月25日

・場 所；倉吉スポーツライミングセンター

・内 容；ボルダリングとリードの体験

・人 数；8名

《西部地区》

・期 日；令和6年1月21日

・場 所；日吉津村農業者トレーニングセンター

・内 容；各クラブによるスポーツコーナーでのスポーツ体験

・人 数；130人

⑩ 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

54,965円

《第1回総会》

・期 日；令和5年7月10日（書面報告）

《第2回総会》

・期 日；令和6年3月26日

・場 所；倉吉体育文化会館

・人 数；9名

(2) スポ協表彰事業○自

772,017円

・期 日；令和6年2月25日

・場 所；白兔会館

[令和5年度表彰者]

・優良団体 2団体

・体育功労章 4名

・優秀指導者賞 5名

・特別賞 6名

・スポーツ賞 (個人) 60名

(団体) 20チーム88名

・スポーツ敢闘賞 (個人) 52名

(団体) 19チーム77名

・スポーツ奨励賞 (個人) 32名

スポーツ賞 全国大会等上位入賞
スポーツ敢闘賞 全国大会等下位入賞
スポーツ奨励賞 全国規模大会入賞

(団体) 3チーム18名

(3) 公認コーチ養成事業

1,194千円 (1,260千円)

- ①公認コーチ養成講習会の開催 (日本スポーツ協会委託事業) 744千円 (866千円)
コーチ1養成講習会 競技未定

- ②公認コーチ育成事業 (日本スポーツ協会委託事業) 450千円 (394千円)
スポーツ指導者研修会の開催 (年2回)

(4) スポーツ少年団育成事業 (日本スポーツ協会助成事業等) 6,908千円 (4,694千円)

- ①県競技別交流大会開催事業 490千円 (470千円)

各地区を代表するスポーツ少年団による県交流大会を開催する。

ア 軟式野球大会

(3) 公認コーチ養成事業

1,732,395円

- ①公認コーチ養成講習会の開催 (日本スポーツ協会委託事業) 1,212,520円

ア 公認弓道コーチ1養成講習会

- ・期 日 ; 令和5年6月25日～11月19日
- ・場 所 ; 県立武道館 他
- ・参加人数 ; 12名

イ 公認バレーボールコーチ1養成講習会

- ・期 日 ; 令和5年9月16日～18日
- ・場 所 ; あやめ池スポーツセンター
- ・参加人数 ; 21名

ウ 公認卓球コーチ2養成講習会

- ・期 日 ; 令和5年12月2日～3日
- ・場 所 ; 倉吉スポーツセンター
- ・参加人数 ; 7名

エ 公認共通科目Ⅱ講習

- ・期 日 ; 令和5年9月2日～3日
- ・場 所 ; 倉吉未来中心
- ・参加人数 ; 19名

- ②公認コーチ育成事業 (日本スポーツ協会委託事業) 519,875円

《第1回》

- ・期 日 ; 令和5年6月4日
- ・場 所 ; 倉吉体育文化会館
- ・参加人数 ; 98名

《第2回》

- ・期 日 ; 令和5年11月26日
- ・場 所 ; 倉吉体育文化会館
- ・参加人数 ; 80名

(4) スポーツ少年団育成事業 (日本スポーツ協会助成事業等) 5,367,085円

- ①県競技別交流大会の開催

534,758円

ア 軟式野球交流大会

- ・期 日；令和5年7月1日、2日（予備日）
- ・会 場；どらドラパーク米子市民球場

イ ミニバスケットボール大会

- ・期 日；令和5年10月1日
- ・会 場；あやめ池スポーツセンター

ウ 剣道大会

- ・期 日；令和5年11月5日
- ・会 場；鳥取市武道館

エ バレーボール大会

- ・期 日；令和5年12月9日
- ・会 場；米子産業体育館

②中国ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催事業 670千円（670千円）

各県のスポーツ少年団による競技別交流大会を開催する。

- ・期 日；令和5年8月19日～20日
- ・交流競技；軟式野球
- ・会 場；赤碕総合運動公園 他

③中国大会派遣事業 290千円（436千円）

各県で開催される中国ブロック競技別交流大会へ、本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

ア スポーツ少年大会・リーダー研究大会（島根県）

イ バドミントン（山口県）

ウ ティボール（岡山県）

エ ソフトボール（広島県）

- ・期 日；令和5年7月2日
- ・会 場；どらドラパーク米子市民球場
- ・参加団数；4 単位団
（東部1、中部1、西部2）

・参加人数；8 1 名

イ ミニバスケットボール交流大会

- ・期 日；令和5年10月1日
- ・会 場；あやめ池スポーツセンター
- ・参加団数；男女各 1 2 単位団
（東部2、中部6、西部4）

・参加人数；9 5 名

ウ 剣道交流大会

- ・期 日；令和5年11月5日
- ・会 場；鳥取市武道館
- ・参加団数；7 単位団
（東部1、中部4、西部2）

・参加人数；5 1 名

エ バレーボール交流大会

- ・期 日；令和5年12月9日
- ・会 場；米子産業体育館
- ・参加団数；1 0 単位団

〔男子4；東部1、中部1、西部2〕
〔女子6；東部2、中部2、西部2〕

・参加人数；1 3 4 名

②中国ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催事業 109,655円

※熱中症のリスクが非常に高いことから延期したものの、参加予定団の日程調整ができなかったため、開催中止

③中国大会派遣事業 66,855円

ア スポーツ少年大会、リーダー研究大会（島根県）

- ・期 日；令和5年度8月25日～27日
- ・会 場；国立三瓶青少年交流の家
- ・派 遣；なし（事務担当者参加）

イ バドミントン（山口県）

- ・期 日；令和5年8月26日～27日
- ・会 場；山口県スポーツ交流村
- ・派 遣；小鴨スポーツ少年団

ウ ティボール（岡山県）

④全国大会派遣事業 315千円 (201千円)

全国で開催されるスポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

- ア 軟式野球 (千葉県)
- イ 剣道 (群馬県)
- ウ バレーボール女子 (宮城県)
- エ スポーツ少年大会 (兵庫県)

⑤中央講習会派遣事業 10千円 (10千円)

新規インストラクター養成のための研修会へ派遣する。

⑥スタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会の開催 250千円 (250千円)

単位団運営において最低2名以上必要な、スタートコーチ (スポーツ少年団) 資格を取得できる講習会を開催する。

- ・期 日 ; 令和5年11月19日
- ・会 場 ; 倉吉体育文化会館

⑦ジュニア・リーダースクール開催事業 130千円 (115千円)

日本スポーツ少年団リーダー制度におけるジュニア・リーダー資格を取得できる講習会を開催する。

- ・期 日 ; 令和5年9月9日～10日
- ・会 場 ; 県立船上山少年自然の家

⑧地区別交流大会開催費 451千円 (421千円)

※参加申込状況により開催中止

エ ソフトボール (広島県)

※参加申込状況により開催中止

④全国大会派遣事業 182,683円

ア 第45回軟式野球交流大会

・期 日 ; 令和5年8月3日～6日

・会 場 ; 千葉県

・派 遣 ; 倉吉サンボーイズスポーツ少年団

イ 第46回剣道交流大会

・期 日 ; 令和6年3月29日～31日

・会 場 ; 群馬県

・派 遣 ; (団体) 剣道スポーツ少年団

(個人) 大山剣道スポーツ少年団

東伯剣道スポーツ少年団

ウ 第21回バレーボール交流大会

・期 日 ; 令和6年3月28日～31日

・会 場 ; 宮城県

・派 遣 ; 大栄バレーボールスポーツ少年団

エ 第61回全国スポーツ少年大会

※台風6号の影響により開催中止

⑤中央講習会派遣事業 0円

ア スタートコーチ (スポーツ少年団)

インストラクター移行研修会

※参加者なし

イ スタートコーチ (スポーツ少年団)

インストラクター養成講習会

※参加者なし

⑥スタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会の開催 322,000円

・期 日 ; 令和5年11月19日

・会 場 ; 倉吉体育文化会館

・参加人数 ; 74名

⑦ジュニア・リーダースクール開催事業 0円

※参加申込がなく開催延期し、再度募集したものの、申込がなかったため中止

⑧地区別交流大会開催費 385,315円

本県の東・中・西部地区の市町村で開催される交流大会費用を助成する。

⑨地区別指導者研修費 151千円 (151千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される指導者研修費用を助成する。

⑩中国ブロック指導者研究協議会開催事業
644千円 (0千円)

スポーツ少年団登録指導者の中国ブロック内における相互の連帯と資質・指導力の向上を図るため会議を開催する。

⑪スポーツ少年団本部運営費
2,116千円 (1,970千円)

⑫全国スポーツ少年団軟式野球交流大会事業
〇臨 791千円 (0円)

令和6年度、本県にて開催される全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の準備委員会の開催及び視察員を派遣する。

(大谷津運動公園野球場：千葉県成田市)

⑬日独スポーツ少年団交流事業〇臨
600千円 (0円)

日本スポーツ少年団とドイツスポーツユースリーグとの協定(日独スポーツ少年団国際交流協定書〔2022年～2023年〕)に基づき、日独両国のスポーツ少年団の青少年及び指導者の相互交流により、国際的能力を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展と友好親善を図る。

3地区に助成(東部、中部、西部)

⑨地区別指導者研修費 39,356円
2地区に助成(東部、西部)

⑩中国ブロック指導者研究協議会開催事業
632,000円

- ・期 日；令和5年11月16日～17日
- ・会 場；ANAクラウンホテルプラザ米子
- ・参加人数；18名

⑪スポーツ少年団本部運営費
1,931,808円

《第1回委員総会》

- ・期 日；令和5年7月4日
- ・会 場；倉吉体育文化会館

《第2回委員総会》

- ・期 日；令和6年3月26日
- ・会 場；倉吉体育文化会館
(令和5年度スポーツ少年団登録数)
- ・指導者；425名(456名)
- ・団 員；2,927名(2,854名)

⑫全国スポーツ少年団軟式野球交流大会事業
〇臨 500,000円

ア 第45回大会の視察

- ・日 時；令和5年8月3日～6日
- ・場 所；千葉県成田市、佐倉市
- ・視察者；鳥取県軟式野球連盟 2名
鳥取県スポーツ協会 3名

イ 第46回配宿等業務委託事業者の選考
令和5年10月19日選考会

⑬日独スポーツ少年団交流事業〇臨
662,655円

鳥取県、岡山県、広島県の3県で、7名のドイツの潜水チームを受け入れた。

本県で様々なプログラムと交流を行い、岡山県に引き継いだ。

- ・日 時；令和5年7月28日～8月1日
- ・団員宿泊；ホームステイ
- ・主な内容；障害者チームとのボッチャ体験
鳥取西高校弓道部との弓道体験
そば打ち体験
鳥取砂丘・仁風閣観光 等

(5) スポーツ安全保険業務

5,062千円 (4,997千円)

公益財団法人スポーツ安全協会と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

(令和5年度目標；加入者数40,300人)

(6) 施設基金実施事業 351千円 (351千円)

①ガイナール鳥取支援事業 51千円 (51千円)

ガイナール鳥取に対し、本会としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実に図るとともに地域活性化に寄与する。

②備品整備事業 300千円 (300千円)

県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備を行う。

(7) スポーツスクエア整備事業

500千円 (500千円)

本県のスポーツ・体育の歴史を紹介する展示物を展示することで県民のスポーツへの興味・関心を高める目的で管理施設(布勢総合運動公園他)のスポーツ展示スペースの整備を行う。

(5) スポーツ安全保険業務

3,504,000円

- ・協定期間；令和5年4月1日～6年3月31日
- ・加入団体数；1,204団体 (1,241団体)
- ・加入者数；40,144人 (39,916人)

(6) 施設基金実施事業 320,460円

①ガイナール鳥取支援事業 50,110円

クラブスポンサーとして支援

②備品整備事業 270,350円

公用車のリース料及び法定点検等整備

(7) スポーツスクエア整備事業

436,210円

①令和4年度からの企画展示

ア 常設展示

- ・期 日；令和4年12月19日～6年1月31日
- ・場 所；鳥取県民体育館
- ・内 容；「鳥取の陸上」

イ 巡回展示

《中部》

- ・期 日；令和5年6月3日～7月10日
- ・場 所；倉吉体育文化会館

《西部》

- ・期 日；令和5年7月10日～9月18日
- ・場 所；米子産業体育館

②令和5年度企画展示

- ・期 日；令和6年2月21日～12月28日
- ・場 所；鳥取県民体育館
- ・内 容；「鳥取の相撲」

() 内は、令和4年度の数値

事業計画	実施状況
<p>3 体育施設管理・運営 699,723千円 (655,683千円)</p> <p>鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。</p> <p>(1) 鳥取県立布勢総合運動公園 365,248千円 (346,900千円)</p> <p>令和5年度施設利用見込人数 923,100人 (931,600人)</p> <p>令和5年度収入見込額 52,630千円 (57,395千円)</p>	<p>3 体育施設管理・運営 644,032,380円 (659,352,227円)</p> <p>(1) 鳥取県立布勢総合運動公園 340,344,925円 (358,352,266円)</p> <p>①利用人数及び収入額</p> <p>ア 利用人数 令和5年度 775,355人 令和4年度 830,944人 増減 ▲55,589人</p> <p>【増減理由】 ○令和5年6月から、メインアリーナの特定天井工事が実施されたことによる。</p> <p>イ 収入額 (自動販売機収入を含む。) 令和5年度 44,838,574円 令和4年度 57,331,648円 増減 ▲12,493,074円</p> <p>【増減理由】 ○令和5年6月から、メインアリーナの特定天井工事が実施されたことによる。</p> <p>②事業実施状況</p> <p>ア 施設管理 ○法令遵守及び利用者の安全確保を優先して、施設の修繕に取り組んだ。 ・修繕件数 ; 79件 ・修繕金額 ; 14,588,163円 ○修繕のうち、漏水関係が約17%、経年劣化によるものが約24%となっている。比較的簡易な消耗品等の交換修繕に加えて、配管関係等の設備の経年劣化が増えている。 ○漏水は一昨年度の修繕で落ち着いたものの、小さな漏水が園内全域で発生している。</p> <p>イ 教室及びイベント実施 《スポーツ教室》21教室 ・実施回数 ; 延べ603回 (958回) ・参加者数 ; 延べ 9,465人 (13,986人)</p>

(2) 鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県
営鳥取屋内プール

103,330千円 (92,447千円)

令和5年度施設利用見込人数
体育館 80,400人 (76,000人)
プール 51,600人 (49,000人)

132,000人 (125,000人)

令和5年度収入見込額
26,900千円 (26,400千円)

《イベント》

- ・実施回数；50回 (28回)
- ・参加者数；延べ15,142人 (10,293人)

③課題及び取り組み

- メインアリーナは令和6年7月から再稼働するので、自主事業等を再開し、利用者数及び収入の増加を目指すこととしている。
- 産休等により職員が2名減となるため、他の職員に負担がかかり業務に支障が出ないように、措置を講ずる必要がある。

(2) 鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プ
ール

95,741,828円 (93,592,735円)

①利用人数及び収入額

ア 利用人数
令和5年度 142,567人 (体育館90,078人
(プール52,489人)
令和4年度 132,525人 (体育館80,734人
(プール51,791人)

増減 10,042人

【増減理由】

- 昨年度と比べ、新型コロナによる大会等の中止がほとんどなかったことによる。
- イ 収入額 (自動販売機収入含をむ。)
令和5年度 29,233,950円
令和4年度 26,625,057円

増減 2,608,893円

【増減理由】

- 昨年度と比べ、新型コロナによる大会等の中止がほとんどなかったことによる。
- 猛暑により、冷房利用が増えたことによる。

②事業実施状況

- ア 施設管理
- 新たに防球フェンスを13枚取得し、大体育館1/3利用を3面すべて仕切れるようにして、バレーボールやテニスなどの利用時に、ボールが他のコートに行きにくくした。
 - 県民体育館メインアリーナが改修工事のため、同館のバスケットゴールを借用し、当館でバスケットボールの大会が開催できるようにした。

○デジタルサイネージを導入して、災害時ろう者の利用者の方が見てわかるようにした。

○透明ディスプレイ「レルクリア」を設置した。UDトークアプリケーションと併用し、ろう者及び外国からのお客様対応に備えた。

○山陰合同銀行のエコキャップ収集運動に協賛し、ペットボトルキャップ13kgをポリオワクチン接種に役立てた。

○2巡目国民スポーツ大会のPRとして、特別国民体育大会鹿児島国体の参加賞等を掲示した。

○鳥取城北高校空手部、鳥取中央育英高校レスリング部、鳥取市立西中学校相撲部に、外部指導者として職員を派遣した。

イ 教室及びイベント実施

《スポーツ教室》13教室

- ・実施回数；延べ325回（349回）
- ・参加者数；延べ4,710人（4,826人）

《水泳教室》18教室

- ・実施回数；延べ582回（539回）
- ・参加者数；延べ4,913人（5,005人）

《イベント》

- ・実施回数；11回（9回）
- ・参加者数；延べ567人（466人）

③課題及び取組み

○燃料費、電気代等の高騰に対応するため、これまで以上に経費の節減に取り組む必要がある。

○プールの建具が老朽化し隙間風が入ってくるため、冬季は利用者から「寒い」、「プールの水温が低い」との声が多くなっている。目張り、ヒーターの追加等で対応しているが、県へ根本的な改修工事を要望することとしている。

○猛暑により、利用者が冷房料金の安価な鳥取市民体育館に流れた。利用者が戻ってこなかった場合、対策を検討する必要がある。

④その他

○新型コロナにより利用が遠のいている利用団体に年間利用調整への案内をするとともに、利用団体を直接訪問する等の営業活動を行った。

○収入増を図るため、利用競技団体及び関係団体と連携し、トップアスリートのプレーを体感できる公式戦や追加イベント、教室を計画して実施す

(3) 米子市皆生市民プール

77,740千円 (73,518千円)

令和5年度施設利用見込人数

87,000人 (87,000人)

令和5年度収入見込額

23,590千円 (22,520千円)

る。

(3) 米子市皆生市民プール

72,262,067円 (73,692,885円)

①利用人数及び収入額

ア 利用人数

令和5年度 85,533人

令和4年度 79,069人

増減 6,464人

【増減理由】

○新型コロナが5類に移行し、県内外からの利用者が増加したことによる。

○各教室が計画通りに実施できたことによる。

○予約システムが本格稼働し、トレーニングホールの利用申込が、ネットでできるようになったことによる。

○利用料免除者70歳以上85名、障がい者等14名に対し、新たに「無料利用資格者証」を発行したことによる。

イ 収入額 (自動販売機収入を含む。)

令和5年度 20,184,029円

令和4年度 18,808,027円

増減 1,376,002円

【増減理由】

○新型コロナが5類に移行し、県内外からの利用者が増加したことによる。

○水泳教室及びスポーツ教室の参加料金を改定したことによる。

○各教室が計画通りに実施できたことによる。

②事業実施状況

ア 施設管理

○新型コロナが第5類に移行したものの、利用者に不安等を与えないようにするため、受付等での対応時には、職員のマスク着用を継続した。

○燃料費の高騰に対応するため、ボイラー運転時間や照明点灯時間などを利用状況に応じて調節するとともに、電気使用量の基本料金が増加しないよう、使用中電力量を監視する「電力デマンド監視装置」を設置した。

○日吉津村及び米子市の小学校の児童に、新年度水泳教室案内チラシを配布した。

○鳥取県営東山水泳場の職員と合同で、人工呼吸を含む心肺蘇生法及びAEDの操作を行う一次救命措置BLS訓練を実施した。

○小学校の「浮いて待て講習会」や「救命救急講習会」に、講師として職員を派遣した。

○鳥取県水泳連盟の水泳競技大会に運営役員として、職員を派遣した。

○米子法人会が取り組む「古タオルの回収」に、プールで使用しなくなったタオルを寄贈した。

○環境活動の一環として、ペットボトルキャップを回収し、リサイクル事業者に提供した。

○「健康寿命を延ばしましょう」のフレイル予防の案内掲示を行った。

○米子児童文化センターの出張事業「じどぶんおはなし会(歌、絵本、手あそび、昔あそび)」を誘致し、幼児対象の水泳教室終了後に、多くの親子に楽しんでいただいた。(月1回程度)

○水泳教室の参加申込が定員を超過した場合、新規コースを設定し、収入増を図った。

○各教室料金の改定を改定した。(令和5年4月から適用)

イ 教室及びイベント実施

《水泳教室》22教室

- ・実施回数；延べ897回(860回)
- ・参加者数；延べ10,482人(10,160人)

《スポーツ教室》10教室

- ・実施回数；延べ451回(430回)
- ・参加者数；延べ3,229人(3,710人)

《イベント》

- ・実施回数；22回(35回)
- ・参加者数；延べ240人(185人)

③課題及び取組み

○燃料費、電気代等の高騰に対応するため、これまで以上に照明の点灯やボイラーの運転時間等利用者や外気温の状況に応じてON・OFFの管理を行い、経費の節減に取り組む必要がある。

○施設の老朽化が進み、軽微な修繕に関しては職員で対応しているが、当初見込んでいない1件50万円を超える修繕が見受けられるようになっており、継続して米子市に対し予算措置を申し入れる必要がある。

(4) 鳥取県立米子産業体育館

67,922千円 (62,630千円)

令和5年度施設利用見込人数

144,000人 (140,000人)

令和5年度収入見込額

32,500千円 (29,700千円)

(4) 鳥取県立米子産業体育館

55,963,744円 (55,402,812円)

①利用人数及び収入額

ア 利用人数

令和5年度 134,194人

令和4年度 117,050人

増減 17,144人

【増減理由】

○新型コロナが5類に移行し、中国大会等大規模な大会や人の多く集まる催事等が、コロナ禍以前のように、開催されるようになったことによる。

イ 収入額 (自動販売機収入を含む。)

令和5年度 23,104,809円

令和4年度 18,943,022円

増減 4,161,787円

【増減理由】

○新型コロナが5類に移行し、中国大会等大規模な大会や人の多く集まる催事等が、コロナ禍以前のように、開催されるようになったことによる。

②事業実施状況

ア 施設管理

○植栽管理マップを作成し、計画的に敷地内環境整備 (除草、草刈り) を行った。

○利用料のキャッシュレス決済 (クレジットカード、電子マネー) を推進し、利用者の利便性を図った。

○近年多発する自然災害に対応するため、年2回の火災避難訓練時に、シェイクアウト訓練を含め、避難場所の確認等、利用者及び職員の防災訓練を行った。

○熱中症対策として、休憩場所に大型扇風機を設置するとともに、利用者へ水分補給と休憩実施を呼びかけた。熱中症対策実施プロジェクト「ひと涼みアワード2023」を6年連続して受賞した。

イ 教室及びイベント実施

《スポーツ教室》

・実施回数; 延べ580回 (580回)

・参加者数; 延べ4,774人 (4,571人)

(5) 鳥取県立武道館

85,483千円 (80,188千円)

令和5年度施設利用見込人数

113,000人 (111,000人)

令和5年度収入見込額

13,560千円 (12,940千円)

《イベント》

・実施回数；1回（1回）

・参加者数；延べ6人（16人）

③課題及び取り組み

○令和6年度から始まる次期指定管理は、指定期間が3年間と短いため、委託料、消耗品、光熱費、燃料代等の支出管理が課題となるため、3年というスパンを念頭に置いた無駄のない管理運営に心掛ける必要がある。

④その他

○フィットネスルームについては、機器の老朽化により、安全面等考慮し令和5年度末で閉鎖することとしていたが、利用者から継続を強く希望する声もあり、機器補充を行い、令和6年度以降も継続することとした。

○社会貢献活動として、福米東小学校の遠足休憩所、福米西小学校の町探検、ケヤキ通り振興会エンジョイウオーキング大会のスタッフ待機所、加茂中学校の職場体験等を受け入れた。

(5) 鳥取県立武道館

79,719,816円 (78,311,529円)

①利用人数及び収入額

ア 利用人数

令和5年度 122,368人

令和4年度 96,615人

増減 25,753人

【増減理由】

○新型コロナが5類へ移行し、昨年度と比べ、大会や会議室の利用が増加したことによる。

イ 収入（自動販売機収入を含む。）

令和5年度 15,110,416円

令和4年度 12,685,305円

増減 2,430,111円

【増減理由】

○新型コロナが5類へ移行し、昨年度と比べ、大会や会議室の利用が増加したことによる。

○猛暑が続き空調利用が増加したことによる。

○教室参加料を値上げしたことによる。

②事業実施状況

ア 施設管理

○新型コロナが5類に移行した後も、当館入口

に検温計や消毒液を設置するなど、引き続き、感染予防に取り組んだ。

○熱中症対策のため、各道場へ扇風機・温湿度計を設置するとともに、館内に注意喚起の掲示を行った。短期教室では、スポーツ飲料を用意した。

○スポーツ教室の申込をインターネットできるようにし、利用者の利便性向上を行った。

○足の不自由な方が座って靴を履き替えるようにするため、2階入口にイスを設置した。

○ペットボトルのキャップをリサイクル業者へ提供し、環境に配慮した管理を行った。

○中学生の職場体験を受け入れた。

○パラスポーツ活動を支援するため、風船バレー大会に職員を派遣した。

○武道合同体験会と併せて、ユニバーサルスポーツの体験会を実施した。

イ 教室及びイベント実施

《スポーツ教室》

・実施回数；延べ1,164回（1,166回）

・参加者数；延べ8,564人（8,385人）

《イベント》

・実施回数；7回（8回）

・参加者数；延べ1,207人（1,347人）

③課題及び取組み

○燃料費が高騰しているため、利用後は、速やかに消灯や空調をオフにするなど、無駄をなくすよう取り組んでいるところ。

○施設の老朽化に対応するため、日々施設を点検し、軽微な修繕なものは、職員で対応しているところ。

○駐車場の表面が削れるため、県へ営繕要望するとともに、陥没箇所を修繕しているところ。

() 内は、令和4年度の数値

事業計画	実施状況
<p><収益1>施設関連事業 120,754千円（84,870千円） 体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。</p>	<p><収益1>施設関連事業 100,700,749円（78,948,146円）</p>

(1) 鳥取県立倉吉体育文化会館

79,230千円 (76,110千円)

令和5年度施設利用見込人数
200,000人 (198,000人)

令和5年度収入見込額
20,537千円 (20,437千円)

(1) 鳥取県立倉吉体育文化会館

72,572,427円 (70,770,836円)

①利用人数及び収入額

ア 利用人数

令和5年度 108,866人

令和4年度 89,589人

増減 19,277人

【増減理由】

○新型コロナが5類に移行し、昨年度と比べ、利用件数が増加したことによる。

イ 収入額 (自動販売機収入を含む。)

令和5年度 19,216,769円

令和4年度 15,342,767円

増減 3,874,002円

【増減理由】

○新型コロナが5類に移行し、昨年度と比べ、利用件数が増加したことによる。

②事業実施状況

ア 施設管理

○体育館、クライミングセンター出入口等に監視カメラを設置し、安全管理に努めた。

○駐車場の間隔が狭い、駐車場のラインが見えにくいとの利用者の声を受け、整備を行った。

○体育館ステージ脇のカーテンが劣化し、光が眩しいとの利用者の声を受け、修繕を行った。

○会館棟の全部屋にインターネット環境を整備し、リモート会議等の利便性向上に努めた。

○応急手当推進事業所として、年2回の訓練用AEDを使用した救命講習を実施した。

○こまめな消灯に努めるとともに、ボルダリングルーム外にグリーンカーテンを設置するなど、環境に配慮した管理運営を行った。

○地域の公民館に出向いて、認知症予防体操やニュースポーツの出張指導を行った。

○ボランティア団体 (ワーカーズコープ) による清掃活動を受け入れた。

○様々なクライミングイベントの運営に協力した。

倉吉市スポーツクライミング聖地化推進協議会の体験会

ボルダリングユース大会

クライミングジャパンカップ

船上山クライミングイベント

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営

41,524千円 (8,760千円)

①倉吉自転車競技場管理運営

9,531千円 (8,760千円)

職員3名を配置し管理運営を行う。

②倉吉自転車競技場整備

31,993千円 (0千円)

新しい水源を確保するために調査を行う。

イ 教室及びイベント実施

《スポーツ教室》12教室

- ・実施回数；延べ266回 (428回)
- ・参加者数；延べ2,134人 (3,142人)

《文化教室》9教室

- ・実施回数；延べ175回 (179回)
- ・参加者数；延べ1,257人 (1,193人)

《イベント》

- ・実施回数；8回 (8回)
- ・参加者数；延べ774人 (593人)

③課題及び取組み

○新型コロナの影響から徐々に回復してきているものの、利用人数、収入ともコロナ禍前の水準には戻っていない。計画を達成するためには、きめ細やかなサービスを提供するなどして、利用者の利便性向上に努める必要がある。

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営

28,128,322円 (8,177,310円)

①倉吉自転車競技場管理運営

8,834,322円 (8,177,310円)

ア 管理運営体制

- ・場長1名 (倉吉体育文化会館館長が兼務)
- ・次長1名 (倉吉体育文化会館次長が兼務)
- ・職員3名

イ サイクリングフェスティバルの開催

《春のサイクルフェスタ》

- ・期 日；令和5年4月29日※大雨のため中止

《秋のサイクルフェスタ》

- ・期 日；令和5年11月5日

②倉吉自転車競技場整備

19,294,000円 (0円)

ア 水源調査 15,004,000円 (0円)

当初は、水源調査(掘削)を2箇所行う予定であったが、1箇所目の水源調査で施設運営に十分な水源が確認することができたため、2箇所目の水源調査は取り止めた。

イ 走路改修 4,290,000円 (0円)

令和7年度の全国高等学校総合体育大会自転車競技の開催に向けて、走路改修に係る基本設計を行った。

() 内は、令和4年度の数値

事業計画				実施状況		
<収益2> 自動販売機設置事業 1,290千円 (1,438千円)				<収益2> 自動販売機設置事業 1,336,507円 (1,294,332円)		
本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。				自動販売機設置状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日実績)		
(単位：千円)				(単位：円)		
	収入	支出	収益	収入	支出	収益
布勢総合運動公園	6,606 (7,545)	600 (755)	6,006 (6,790)	7,675,040 (8,155,293)	697,712 (747,892)	6,977,328 (7,407,401)
鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	1,484 (755)	148 (180)	1,336 (1,620)	2,039,183 (1,581,244)	185,342 (144,516)	1,853,841 (1,436,728)
皆生市民プール	720 (720)	72 (72)	648 (648)	852,349 (681,108)	77,475 (62,505)	774,874 (618,603)
米子産業体育館	2,200 (2,150)	220 (150)	1,980 (2,000)	1,684,114 (1,341,702)	153,077 (122,748)	1,531,037 (1,218,954)
県立武道館	2,500 (2,810)	250 (281)	2,250 (2,529)	2,452,101 (2,377,978)	222,901 (216,671)	2,229,200 (2,161,307)
合計	13,510 (15,025)	1,290 (1,438)	12,220 (13,587)	14,702,787 (14,137,325)	1,336,507 (1,294,332)	13,366,280 (12,842,993)